

広島県スポーツ優良団体表彰

大竹市バスケットボール協会
大竹市ゴルフ協会

3月18日、地域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、地域のスポーツの振興に顕著な成果をあげている団体として、市内の2団体が県知事から表彰されました。

これまでの活動が評価され受賞した、ゴルフ協会会長三上博士さん(後列左から2人目)とバスケットボール協会会長畠中和樹さん(後列左から3人目)



Photo by Masaki Hori



Photo by Masaki Hori



登録証を手にした三宅さん。「地元で公演したい」と意欲を見せます。

3/18 THU



3月30日『阿多田診療所医師・看護師交代式』が、阿多田島漁協で行われ、平成20年から約13年間勤務した林重三医師、林容子看護師が退任。新たに桐原義昌医師、桐原久美看護師が就任されました。林医師は涙をこらえながら「たくさんの苦難がありました、島民の皆さんをはじめ、多くの方の助けがあり勤め上げることができました」と長年の感謝を込めて退任のあいさつをしました。



4月9日 アゼリアおおたけで、湯崎知事、入山市長と大竹市民がひろしまの未来を語った『湯崎知事とひろしまの未来を語る』を開催。6人の市民の皆さんが、情報発信の問題や観光資源の活用などを提言し、意見交換を行いました。新型コロナウイルス感染症防止のため無観客ライブ配信。会議の様子は、県のYouTubeチャンネルで視聴できます。「ひろしまの未来を語る」で検索。



1



3



2



4

①6年間頑張った証し。大橋校長から卒業証書が渡されます。②松本佳穂さんの送辞。「6年生から責任感や協力することの大切さを学びました」。③金澤遼哉くんは、コロナ禍での学校生活を振り返り、多くの人の支えがあったことに「ありがとうございました」と感謝の答辞。

小方小学校では、保護者らが見守る中、71人に卒業証書が授与されました。在校生を代表し5年生の松本佳穂さんは、「先輩方から教わったことを忘れずにいたい」と言葉を贈り、卒業生代表の金澤遼哉くんは、地域の方、先生、家族らへの感謝の言葉で応えます。卒業生らは思い出を胸に抱き、式場を後にして、新たなステップへと進んでいきました。

小方小学校
思い出を胸に新たなステップへ



5

④感謝の意を込めて卒業生全員で手話を交えて歌います。⑤卒業証書と花束を携えて退場。保護者らは拍手で送り出しました。

3/19 FRI



竹っ子誕生111人

大竹小学校

真新しい制服と上履き。先生が掲げるクラスの旗に導かれ、新1年生が入場してくると、体育館の床もキュッキュッとうれしそうに鳴っているようです。先生から名前を呼ばれるとマスク越しに「はい」と起立。

野崎校長は、1年生に向けて「元気よくあいさつをしよう」「先生の言われることをよく聞こう」という2つのお願いをしました。

在校生の代表として出席した6年生の松長夢尋さんは、「楽しい思い出をいっぱいつくっていきましょう」と優しく呼びかけました。

新たな竹っ子111人が誕生した入学式でした。



1



4/7 WED



5

③きちんとお辞儀もできました。④式が終わってホッとひととき⑤クラスで記念撮影。校長先生うれしそう。



4



3

魅力発信！応援大使

情報発信力や影響力のある人に、大竹市の魅力を発信してもらおうと発足した『大好き大竹応援大使』。登録第1号のゴッホ向井ルーさんに続き、ニューヨークで活動中の表現師でダンサーの三宅由利子(Murko Miyake)さんが登録され、市長から登録証が手渡されました。

登録証を手にした三宅さんは「正直すごくうれしい。私はこのまちに育てられたようなものです。コロナ禍の中、自分のしていることで恩返しができることがうれしい」と喜びの声。

「地元でのパフォーマンスも視野に入れながら活動したい」と抱負も述べてくれました。大竹のいいところをSNSやマスメディアなどを通してアピールしてくれる『大竹応援大使』もっと増えてくれることを願っています。